

【1】要支援者情報の把握・共有

おおい町救急医療情報キット支給事業

(おおい町)

基礎情報

実施地域	おおい町全域
実施主体	おおい町
所在地	おおい町本郷136-1-1
代表者	おおい町長 時岡 忍



要支援者の定義

- ・ 65歳以上のひとり暮らしの者
- ・ 65歳以上のみの世帯に属する者
- ・ その他町長が認める者

事業の概要

- ・ ひとり暮らし高齢者等の「もしも」の際に備えるため、救急医療情報キットを支給する。かかりつけ医療機関や持病、緊急時の連絡先などをあらかじめ記載した情報シートが入った円筒型の保管容器（救急医療情報キット）を冷蔵庫に入れておき、救急隊員等が駆けつけた時にはその情報をもとに適切な対応を図る。
- ・ 毎月65歳到達者について、ひとり暮らし高齢者等の実態把握をし、新たに対象となった方には、高齢者福祉相談員が訪問し、事業説明を行い、申請の取りまとめを行う。

情報の共有者

- ・ 民生委員児童委員
- ・ 高齢者福祉相談員
- ・ 消防署
- ・ 地域包括支援センター

情報の共有方法

- ・ 情報シートをキットの中に入れ、コピーを町で保管する。
- ・ シートの内容や、民生委員等からの聞き取り情報等を台帳に登録する。
- ・ 新たにキットが支給された場合、民生委員児童委員に連絡し確認していただく。

事業の実績、成果

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の方の持病や緊急連絡先の情報が把握できた。
また、救急搬送などされた時に、キットを活用することで迅速に対応できるとともに、在宅生活の安全安心が確保できる。

- ・キット支給実績：274世帯（ひとり暮らし高齢者 148世帯、高齢者世帯 126世帯）
- ・救急搬送時の活用実績：1件（H25. 4月からH26. 2月までの実績）

工夫した点

キットの申請書及び救急情報シートの取りまとめ、配布を民生委員児童委員にお願いした。
また、支給後救急情報シートに記載されている情報に変更があれば、随時更新してもらうように民生委員児童委員や高齢者福祉相談員の定期的な訪問時に声掛けをお願いしている。

事業の財源

平成23年度の地域支え合い体制づくり事業補助金で、事業を整備。

課題

- ・高齢者世帯の実態把握が不十分である。
- ・情報シートの記載内容が古いと適切な処置を受けられなくなる恐れがあるため、内容に変更があった場合は、随時更新を呼びかけていく必要がある。

今後の目標

対象者への周知に努め、随時希望される対象者には、救急医療情報キットを配布し、おい町の全ての対象者に配布がいきわたるようにしたい。
また、民生委員児童委員や消防署、地域包括支援センターが連携を深め、情報を共有できるようにしていきたい。



問合せ先：おい町なごみ保健課内 地域包括支援センター

(TEL : 0770-77-2770 FAX : 0770-77-3377)